

暮らしをささえる市政に

皆さんと力を合わせて



入道岳と茶畑

市議会議員

石田秀三 さん

伊船町2751 電話 371-0423 FAX 371-2469
ホームページ <http://www.jcp-mie.jp/ishida/>

【略歴】 ●1953年生まれ、58歳。 ●静岡大学卒、鈴鹿市役所に11年余勤務、86年に退職。 ●87年初当選、現在6期目。24年間、毎議会質問に立ち、3代の市長と論戦。 ●伊船町に在住、家族は妻、母、2男1女（別居）。趣味は山歩き、読書など。1反の田で米を作る。

市議会議員

森川ヤスエ さん

矢橋3丁目10-34 電話 384-3740 FAX 384-2907
ホームページ <http://blog.ymorikawa.net/>

【略歴】 ●1950年生まれ、60歳。 ●沖縄県生まれ、上京し日本大学通信教育卒。結婚して鈴鹿に住み、33年。 ●95年初当選、現在4期目。毎月欠かさず議会報告「女性は太陽」を発行、配布し続ける。 ●矢橋3丁目に住居、家族は夫、3男（別居）。趣味はお菓子作り、読書など。

すずか民報

第133号
2011年2月

発行責任者
辻井良和
TEL 386-0529

市政報告特集

日本共産党鈴鹿市議団の活動をお知らせします。ご意見をお寄せください。



市民の目線で チェックと提案

日本共産党鈴鹿市議団

問題点を明らかにし、改善を提案

日本共産党鈴鹿市議団の森川議員、石田議員は、この4年間も市議会でも多くの問題を取り上げ、市民の立場から市政をチェックするとともに、市民の暮らしを

過大な上水道計画を大幅変更

水道料値上げなしに

守り、町づくりを進める具体的な提案を行ない、実現をはかってきました。今号では、今期の議会活動の主なものをご紹介します。

鈴鹿市の上水道第5期計画（2000年）は、長良川河口堰からの水を日量1万3千トンも入れた日量12万5千トンという過大なものでした。共産党市議団は計画の最初から問題点を指摘し、「県から押し付けられた長良川導水を返上し、10万トン以下の自主的な計画にせよ」と、見直しを求めてきました。

市は08年、5期計画を変更し、長良川導水（実際は木曾川用水）を日量2千2百トンに、全体を日量9万5400トンに大きく下方修正（24%減）しました。こ

特権的な市長退職金、引き下げ求める

であるとの見解を変えようとしません。どちらが市民感覚に合っているでしょうか？

一般の市職員の退職金は、「在職1年につき1ヶ月」の計算で支給されます。ところが、市長はじめ特別職は、別表のようなランク付けで支給され、市長は1期4年で1900万円も受け取ります（議員は退職金なし）。共産党市議団は、「このような特権的かつ身分差別的な方式はやめ、一般職並みにすること」を求めています。市長は妥当



計画を縮小して完成した権配水池

職種別の退職金（在職4年）

職種	支給月数
一般職	4.0
市長	18.0
副市長	12.6
教育長	9.0
水道局長	7.92
監査委員	4.0

し守る市政を

日本共産党鈴鹿市議団



中学校給食 実現のメドつく

「中学生にも小学校と同じように、温かくておいしい給食を」と、議会で何度も訴えてきました。08年から市教委は、評判の悪い「ランチサービス」（業者弁当を希望者に販売する）の見直しを進め、昨年6月議会で、ついに教育長が「完全給食実施に向けた調査研究と実施計画の作成」を行なうと答弁しました。一日も早い実現が待たれます。



給食センターで、出来たての給食を試食

ワクチン接種 無料になりました

幼児の「髄膜炎」を予防する「ヒブ・肺炎球菌ワクチン」、子宮頸がんを予防するワクチン。どちらも1回1万円以上の負担が大変と、無料接種を求めるお母さんたちの声を質問で取り上げ、議会の採択に尽力しました。昨年の12月補正予算で、今年1月からの市と国の負担による無料実施が実現しました。

介護保険料 半数の人が減額に

党亀山市議団と協力して、広域式に改善、54%の人が減額になり、議会で介護保険料の引き下げを提言しました。また、要介護認定者に「障害者控除」を適用させ、所得税・住民税を安くして喜ばれています。

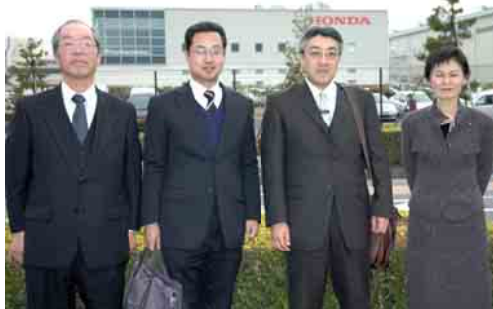
子ども医療費無料化 就学前までに引き上げ

「3歳児まで」だった子どもの医療費無料化の年齢引き上げを求め、07年9月から「就学前まで」に改善。翌年度が制度化してできた市の余裕財源で、さらに引き上げを提案、09年4月からは「小6までの入院」にまで広げました。

議会論戦で 市の姿勢ただす

ホンダ1760人 非正規切り

09年1月、ホンダ鈴鹿製作所が期間工1760人全員の解雇を発表。市議団は党県委員会、国会議員団とともに撤回を申し入れ、市議会でも動くつもりがない川岸市長に、ホンダに要請せよと求めました。また、派遣切りや雇い止めにあつた労働者を支援、「一日派遣村」をひらき、家探し、仕事探し、生活保護受給を進めるなど、尽力しました。



党県委員長らと共に、ホンダ鈴鹿製作所に申し入れ

医療科学大薬学部 8億円もの補助金

07年新設の薬学部は、十分な検討もなく9億円（精算で8億円）もの助成が多すぎると反対。大学誘致した。時にすでに33億円も出している、この大盤振舞いを正面から批判しました。

生活保護不正支給事件

08年2月に明らかになった生活保護不正支給事件。外部委員会から「ズサンで無責任」と指摘された市の体質の徹底究明を要求。しかし市としての総括は不十分のまま、また岸市長にトップとしての責任を問いました。



福祉・教育・くらし

がんばってます

**高い国保税 5億円の繰り入れで
一人1万円引き下げを**

この景気低迷のときに、市は10年 回避できると主張しました。
度国保税を10%も引き上げました。
市議団は値上げに反対するとともに、
全国の自治体の平均一人当たり1万
円、鈴鹿市に当てはめれば5億円を、
一般会計から繰り入れれば値上げは

**住宅リフォーム助成で
「仕事起こし」を**

全国の多くの自治体で、建設関係の業者・職人の皆さんの「仕事起こし」の呼び水として、「住宅リフォーム助成制度」が広がっています。屋根から畳、壁や窓などどんな工事も対象にして、市内業者が施工する工事額の1割、上限20万円の助成で、その経済波及効果は予算の15倍以上、地域に活気をもたらします。鈴鹿市でもぜひ実現させましょう。

**図書館・公民館・
市民の施設の充実を**

市立図書館の図書購入予算は、06年に1千万円も減らされて2千万円にされたままです。しかも、その財源のほとんどが「宝くじ助成金」で、市の持ち出しはわずか40万円足らずという貧困ぶりです。ます元の3千万円に戻させましょう。そして、広い鈴鹿市の東西南北に分館を設置させましょう。

公民館予算も30館でたった1200万円という状態で、抜本的な引き上げが必要です。旧神戸中跡地のまだ新しい体育館や校舎はこわす、市民のための施設にさせましょう。

ごいっしょに
実現させましょう



旧神戸中校舎を市民の施設に

**子ども医療費無料化
中学校卒業まで引き上げを**

義務教育の期間までは、せめて医者代への心配をなくともいいように、子ども医療費の無料化年齢を「中学校卒業まで」に引き上げさせましょう。また、東海では三重県だけがして「窓口無料」に変えて、他県のよつに「窓口無料」にさせましょう。

**消防防災体制の
底上げを**

いま消防本部の新庁舎が建設中ですが、せっかく施設や消防・救急車両が基準どおり整っても、消防職員のパワーが足りず、消防車1台に5人乗車のごとく3人、2人乗車で出動している実態です。「安全・安心」を掛け声だけでなく、人員体制をきちんと整えることが必要です。



現消防庁舎の前に新庁舎建設中

**市民の願いに答える
暮らし重点の予算に**

「ホンダの税収がへって財政が大変だ」「何でもガマンせよ」と言われています。たしかに厳しい状態ではありますが、この表のように、税収が落ちると国からの地方交付税が増え、財政水準は維持されます。大事な「ガマン」を強いることではなく、市民の暮らしを支えるための工夫と努力です。

鈴鹿市の市税収入と地方交付税

	2008年度	2009年度	2010年度
市税収入	313 億	292 億	277 億
個人市民税	119 億	117 億	104 億
法人市民税	34 億	15 億	13 億
地方交付税	4 億	8 億	35 億
市税+交付税	317 億円	300 億円	312 億円

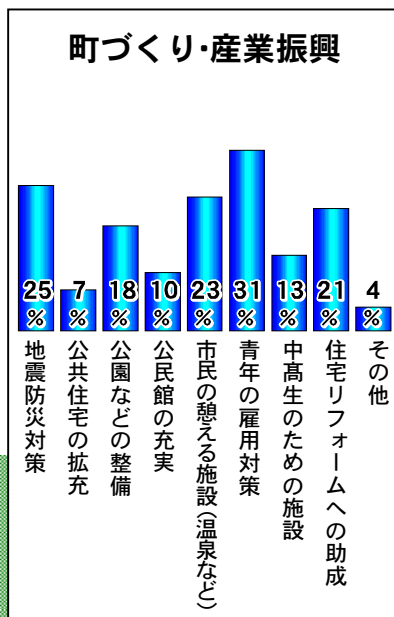
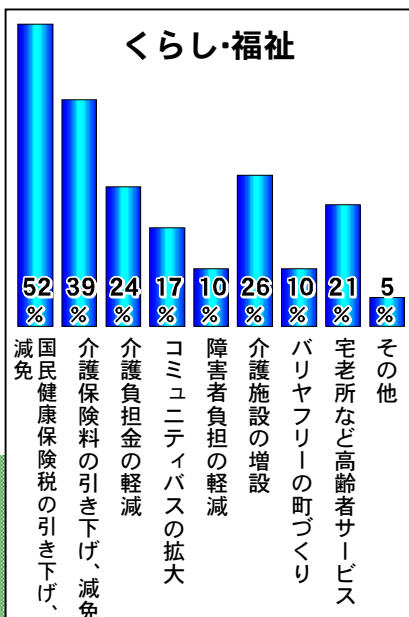
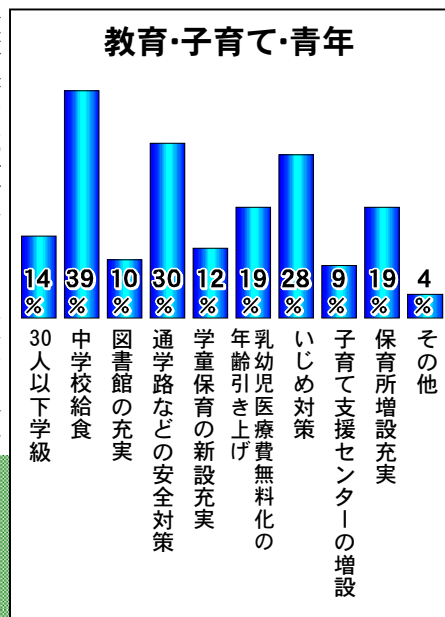
「市民アンケート」へのご協力ありがとうございました

日本共産党鈴鹿市議団のアンケートへの回答630通のまとめ

鈴鹿市政に何を望みますか？

みなさんの声を市政に活かします

複数回答のため合計は100%にはなりません

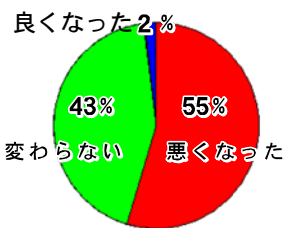


- 主人の仕事が減っている。家のローンが払えなくてどうしたら良いか相談している。(40代、女)
- 持病のため仕事に行けず、医療費も高いので病院にも行けなくて困っている。(50代、男)
- 介護施設に入りたくても、料金がなくて入れません。(60代、女)
- 娘が専門学校を卒業するが、いまだに就職先がない。(50代、男)
- 結婚して愛知から来たが、中学校の給食がないのに驚いた。(30代、女)

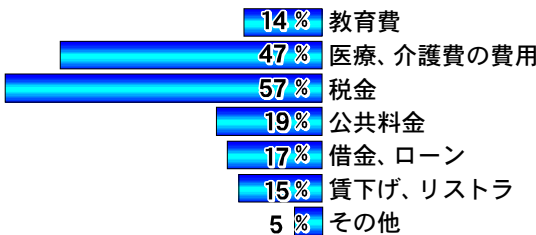


- 今ある小学校隣接の幼稚園はなくさないでほしい。(20代、女)
- 市役所や図書館に公共の乗り物で行くのにはたくさん時間がかかる。(40代、女)
- 増えることのない年金生活なのに、医療費、保険料の増額でたいへん不安。(70代、男)
- 夫が定年になり、健保と国保の保険料の違いにびっくりしました。(60代、女)
- 中高生が遠くに行かなくても済むように、白子に図書館を。(70代、男)

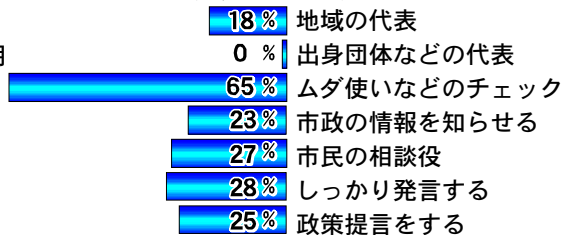
最近の暮らし向きは



あなたの暮らしで負担を感じるものは



市議員に何を期待しますか？



市政・生活相談地域 (中学校区)

石田 秀三

森川 ヤスエ

「何でも賛成」では、チェックが出来ません

この4年間の市議会では、市長提出議案はすべて「可決」されました。ほとんどの議員は「何でも賛成」の態度です。しかし、市民の皆さんが望む「ムダ使いなどのチェック」をするには、問題のある議案や予算には反対し、是正を求める必要があります。

共産党市議団は、市民にとって「良いことには賛成、悪いことには反対」の立場で審議を尽くし、賛否の理由も討論できちんと述べます。この4年間で、およそ9割の議案に賛成、1割の議案には反対しました。

ハッキリ発言、しっかり報告します

共産党市議団は、毎回かならず本会議での一般質問・議案質疑・討論を行なっています。「聞くだけ質問」や「お願い質問」が多い中で、他の議員がふれない「生保不正事件」「同和問題」「退職金」など、スバリ市長の姿勢を正面からたずね質問も行なってきました。

また、こうした議会の活動を「すずか民報」や「議会レポート」「女性は太陽」の発行、両議員のホームページなどで市民に報告し、市民からの声を大切に活動すすめています。